

令和5年度徳島県ワンヘルス推進事業に係る普及・啓発動画制作業務の
公募型プロポーザル募集要項

本県では、「人と動物の健康と環境の健全性は一つ」と考えるワンヘルスの理念浸透に向けた取組を推進し、県民及び県民が飼養する動物の健康並びに環境の健全性を一体のものとして守ることができる社会の構築を目指し、令和5年3月に「徳島県ワンヘルス推進条例」を制定しました。

徳島県ワンヘルス推進条例の基本理念の中には、「県民へのワンヘルスに関する知識の普及啓発」が定められており、この基本理念やワンヘルスの実践に対する県民の理解促進を図るためのプロモーション動画を制作します。

この業務を実施する事業者を次のとおり募集します。

1 業務概要

(1) 業務名

令和5年度徳島県ワンヘルス推進事業に係る普及・啓発動画制作業務

(2) 業務内容

詳細は別添の「令和5年度徳島県ワンヘルス推進事業に係る普及・啓発動画制作業務仕様書」のとおり。

なお、ここに定めのない事項については必要に応じて発注者と受注者で協議して決定する。

(3) 実施主体

徳島県危機管理環境部消費者くらし安全局安全衛生課

(4) 履行期間

契約締結日から令和6年2月29日（木）まで

(5) 見積限度額

2,021千円（消費税及び地方消費税を含む。）

(6) スケジュール

令和5年9月4日（月）	募集開始
令和5年9月19日（火）午後5時まで	参加申込締切、質問受付締切
令和5年10月3日（火）午後5時まで	企画提案書の提出締切
令和5年10月中旬	審査委員会、審査結果通知
令和5年10月下旬	契約締結・業務開始
令和6年2月29日（木）	履行期限

2 参加資格要件

次に掲げる要件を全て満たす者。

ただし、複数事業者による共同企業体として参加する場合には、(1)、(2)及び(4)については、構成する事業者のうち、一事業者以上の事業者が満たしていればよい。

(1) 徳島県内に本社若しくは営業所又は関連会社等を置く法人又は個人事業主であること。

(2) 物品の購入等の契約に係る一般競争入札及び指名競争入札参加資格審査要綱（昭和56年徳島県告示第26号）第4条第1項の規定による審査により資格を有する者で、営業品目「ビデオ製作」で登録している者であること。

※資格を有していない場合は、一般競争入札参加資格申請書（様式第1号、この様式については、徳島県ホームページからダウンロードするか、徳島県管財課において配布されているものを使用すること。）に必要書類を添付して、3に示す企画提案書等提出書類の提出期限までに徳島県管財課へ登録を行うこと。（申請内容について審査を担当する職員から説明を求められた場合にはこれに応ずるものとする。）資格審査の結果については、申請者へ通知が行われる。

(3) 次のアからサまでのいずれの事項にも該当しないこと。

- ア 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当する者。
- イ 地方自治法第244条の2第11項の規定により徳島県又は他の地方公共団体からの指定の取消しを受け又は当該処分の日から起算して2年を経過しない者。
- ウ 徳島県建設工事入札参加資格停止措置要綱及び徳島県物品購入等に係る指名停止等措置要綱に基づく指名停止の措置の対象となっている者。
- エ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又はその構成員（暴力団の構成団体の構成員を含む。）若しくは暴力団び構成員でなくなった日から5年を経過しない者（以下「暴力団の構成員等」という。）の統制下にある団体。
- オ 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立て、民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立て又は破産法（平成16年法律第75号）に基づく破産手続開始の申立てがなされた者。
- カ 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）第3条又は第8条第1項に違反するとして、公正取引委員会又は関係機関に認定された日から2年を経過しない者。
- キ 徳島県の県税（法人事業税・法人県民税等）、法人税、地方法人特別税、消費税及び地方消費税並びに延滞金等を滞納している者。
- ク 労働基準法をはじめとする労働関係法令を遵守していない者。
- ケ 役員（法人の監査役及び監事を含む。）のうちに、次のいずれかに該当する者がいる団体。
 - a 成年被後見人又は被保佐人
 - b 破産者で復権を得ない者
 - c 禁錮以上の刑に処せられ、その刑の執行を終わり、又はその刑の執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
- コ 特定の政治活動又は宗教活動等を主たる目的とする団体、公序良俗に反する等適当でないと認められる者。
- サ 選定委員会の委員が自ら主宰し、役員若しくは顧問として関係し、または所属する法人その他の組織である者。

3 提出書類等

(1) 提出書類

- ア 参加申込書（様式第1-1号） 1部
共同企業体による参加申込の場合は、様式第1-2号を使用すること。
- イ 共同企業体協定書兼委任状（様式第2号） 1部
共同企業体による参加申込を行う場合にのみ提出すること。
- ウ 誓約書（様式第3号） 1部
- エ 参加団体の概要・業務実績（様式第4号） 1部
- オ 法人の場合は登記簿謄本（履歴事項全部証明書） 1部
個人事業主の場合は開業届のコピー 1部
- カ 直近の事業年度における事業報告書、貸借対照表及び損益計算書、又はこれに類するもの 1部
- キ 県税及び国税に未納がない旨の証明書（原本） 1部
- ク 企画提案書（様式第5号） 7部
- ケ 見積書（様式第6号） 7部（正本1部、副本6部）
- コ 参考資料（類似業務実績の写真、動画など、企画提案内容を補足する資料）
※ 任意（提出する場合は7部）
※ エの業務実績については、過去5年間の主要な実績を記載すること。
実績の事例が多い場合には、必要に応じて様式を変更すること。
※ 共同企業体による参加を行う場合にあっては、ウ～キに規定する資料については、構成する全ての事業者が提出すること。

(2) 提出期限等

○参加申込提出書類（ア、イ、ウ、エ）

提出期限 令和5年9月19日（火）午後5時必着

○企画提案書等提出書類（オ、カ、キ、ク、ケ、コ）

提出期限 令和5年10月3日（火）午後5時必着

提出先 〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

徳島県危機管理環境部消費者くらし安全局安全衛生課 HACCP食品安全担当

提出方法 持参又は郵送（書留郵便に限る）

(3) その他

参加申込書提出後にプロポーザル参加を辞退する場合は、参加辞退届出書（様式第7号）を令和5年9月29日（金）午後5時までに提出すること。

4 対象となる経費

(1) 動画制作に係る経費

・制作編集費、機材利用料、各種リース費用

・ナレーター等謝金

・音楽使用料、納品経費

(2) 人件費

(3) 一般管理費（事業を行うために必要な経費の中で、証憑による照合が困難な経費（当該事業とその他との切り分けが困難なもの）について、契約締結時において、一定割合支払を認められる間接経費）

(4) その他事業実施のため必要と認められる経費（ただし、不動産の購入、修繕経費（土地建物）や、汎用備品等の機械・器具購入費、その他事業計画と関連性がない経費は対象外）

(5) その他

ア 対象経費は、他の経費と区分して整理すること。

イ 業務に要した経費は、領収書等で確認できること。

ウ 総勘定元帳、現金出納簿等の会計関係帳簿類及び労働者名簿、出勤簿、賃金台帳等の労働関係帳簿、業務日誌等の事業の実施状況が確認できる書類を整備し、令和11年3月31日まで保存すること。

5 応募に関する留意事項

(1) 企画提案書の作成及び提出に要する費用は、企画提案者側の負担とする。

(2) 提出された企画提案書、その他書類は、返却しない。

(3) 無効となるプロポーザル

ア 企画提案書の提出方法、提出先、提出期限に適合しないもの。

イ 企画提案書に提案と関係ない事項の内容が記載されているもの。

ウ 許容された表現方法以外の表現方法が用いられているもの。

エ 虚偽の内容が記載されているもの。

オ 会社更生法等の適用を申請する等、契約の履行が困難と認められるに至ったもの。

カ 審査の公平性を害する行為があったもの。

キ その他、提案に当たり著しく信義に反する行為等、審査委員会の委員長が失格であると認めたもの。

(4) 応募は1参加者につき1件とする。また、共同企業体の構成員として参加している事業者においても、本業務の他の参加者（共同企業体の構成員を含む。）となることはできない。

(5) 提出された企画提案書の差し替え及び再提出は、原則認めない。

ただし、書類の不足及び不備の補完、内容不明点の確認のほか、必要に応じ、追加資料の提出を求める場合がある。

(6) 提出された企画提案書は、当該提案者に無断で二次的な使用は行わない。

- (7) 原則として、本業務の全部又は一部を第三者に委任し又は請け負わせてはならない。ただし、業務を効率的に行う上で必要と認められる場合、事前に県の承諾を得た上で、業務の一部を委託することができる。
- (8) 提出する資料に用いる言語、通貨及び単位は、日本語、日本国通貨、日本の標準時及び計量法（平成4年法律第51号）の定める単位とする。

6 質疑応答

- (1) 質問の受付期間
令和5年9月4日（月）から同年9月19日（火）までの
午前9時から午後5時まで（土日祝は除く）
- (2) 質問の提出方法
当該募集に係る質問は、質問書（様式第8号）により、電子メールで提出すること。
なお、送信後、電話にて着信の確認を行うこと。
メールアドレス anzeneiseika@pref.tokushima.jp
電話番号 088-621-2229（安全衛生課）
- (3) 質問の内容
原則として、当該業務に係る条件や応募手続きに関する事項に限るものとし、他の事業者からの提案書提出状況や見積額に関する内容等は受け付けない。
- (4) 質問に対する回答
質問者に対して電子メールにより、令和5年9月26日（火）までに回答するほか、県HP上に掲載する。

7 審査基準等

- (1) 審査の方法
提出された企画提案書をもとに、当該委託業務の審査委員会において、プレゼンテーションによる審査で最優秀提案者を選定する。審査においては、評価の採点において基準点を満たし且つ上位の者を、契約の相手方の候補者とする。
なお、提案者が1者であった場合は、企画提案書の適否を評価することとし、必要に応じ提案者に説明を依頼する。
ア プレゼンテーション審査に参加する提案者には、日程ほか別途通知する。
イ プレゼンテーションを行う者は、1者あたり3名までとする。
ウ プレゼンテーションに当たっては、補足資料を用いて行うことも可能であり、その場合は10部用意することとする。
エ プレゼンテーション審査に遅刻した場合は、応募辞退とみなす。
オ 提案者は、他の参加者の企画提案を傍聴することはできない。
- (2) 審査基準
審査委員が次の評価基準に基づき採点を行い、各委員の採点の合計点が最も高い者を最優秀提案者、次に高い者を次点者に選定する。また、得点が同点となった場合及び、「総得点」が最も高い事業者と過半数を超える委員が最も高く採点した事業者が異なる場合は、審査委員の協議により決定することとする。
なお、得点が最も高い場合又は提案者が1者であった場合においても、その得点の合計が全体の6割以上ではない場合は、最優秀提案者として選定しない場合がある。

評価項目	評価内容・視点等	配点
提案内容に関する視点	○コンセプト 動画制作の目的・趣旨を踏まえており、成果が期待できるか	20
	○オリジナリティ 提案内容に独自性・先進性があるか	20
	○訴求力 見るものを引きつける、魅力的なコンテンツとするための工夫があるか 理解しやすい内容となっているか	30
	○経済合理性 見積額及び積算内訳・根拠は適当で、費用対効果が高いか	10
実施体制に関する視点	○スタッフ構成と実現性 スタッフ構成や機器は提案を実行するために十分か 実施スケジュールが具体的で、確実に実行できるか	10
受託実績に関する視点	○類似業務の実績 過去の実績等から、確実に履行が期待されるか	10
合計点		100

(3) 審査結果の通知及び公表

審査結果は選定後、速やかに提案者に通知するとともに、最優秀提案者の名称等を県HP上で公表する。

(4) 審査結果に対する異議申し立ては受理しない。

8 契約の締結について

- (1) 提案が選定された者は、企画競争の実施の結果、最適な者として選定した者であるが、契約手続きを完了するまで契約関係を生じるものではない。また、業務の実施に際しては、提案内容をそのまま実施するものではなく、選定後に契約予定者と県が協議・調整を行った上で、双方が合意に至った場合に契約を締結する。
- (2) 契約予定者との協議が整わなかった場合は、その選定を取り消すとともに、審査委員会において次点となったものを契約予定者とし、契約内容についての協議等を行った上で、契約を締結する。
- (3) 県との協議が整った場合は、契約予定者から改めて見積書を徴収し、内容を審査の上、委託契約を締結する。
- (4) 委託契約にかかる委託料は、必要な場合、前金払いを可能とする。
- (5) 本業務を実施する上で、必要な資料、画像、映像等について、委託者から受託者に提供するものとする。受託者は責任をもって資料等の管理を行うとともに、返却する必要があるものについては、業務完了後速やかに返却すること。
- (6) 本業務の実施にあたり、県は委託契約期間の間、随時、業務の進捗状況及び経費の執行状況について、受託者に報告を求められることができるものとし、その状況に応じて業務内容の見直しについて、受託者と協議できるものとする。
- (7) 受託者は、本業務の実施に当たって知り得た秘密を他に漏らし、または自己の利益のために利用しないこと。また、成果品及び業務履行過程で得られた記録を第三者に閲覧させ、複製又は譲渡しないこと。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。但し、委託者の許可を得た場合はこの限りではない。
- (8) 本業務の遂行により生じた著作権（著作権法（昭和45年法律第48号）第21条から第28条に規定するこれらの権利）はすべて県に帰属する。

- (9) 本事業の終了後、受託者から提出していただく実績報告書に基づき、必要に応じて調査を行い、支払額を確定する。支払額は、契約金額の範囲内であって、実際に支出を要したと認められる費用の合計となる。このため、全ての支出には、その収支を明らかにした帳簿類及び領収書等の証拠書類が必要となる。また、支出額及び内容についても厳格に審査し、これを満たさない経費については、支払額の対象外となる場合がある。
- (10) 受託者が委託業務を行うに当たって、個人情報を取り扱う場合は、徳島県個人情報保護条例（平成14年徳島県条例第43号）及び知事が取り扱う個人情報に関する徳島県個人情報保護条例施行規則（平成14年徳島県規則第78号）に基づき、その取扱いに十分留意し、漏えい、滅失及びき損の防止その他個人情報の保護に万全を期すこと。

徳島県ワンヘルス推進事業に係る普及・啓発動画制作業務仕様書

1 業務名

徳島県ワンヘルス推進事業に係る普及・啓発動画制作業務

2 委託業務期間

契約締結の日から令和6年2月29日（木）まで

3 業務目的

「人と動物の健康と環境の健全性は一つ」と考えるワンヘルスの理念浸透とワンヘルスの実践に対する県民の理解促進を図るため、プロモーション動画を制作する。

制作した動画は、徳島県が主催、共催、後援等をするイベントや徳島県ホームページ、SNS等での公開、Youtubeでの配信等様々な場面で活用する。

4 業務内容

次に掲げる動画を制作し、納品する。

(1) 動画の概要

(ア) 内容

「人の健康」、「動物の健康」、「環境の健全性」は一つのものであるという「ワンヘルスの理念」について、視聴者が主体的に学び、実践し続ける姿勢を醸成する動画を企画、制作する。

(イ) ターゲット

ワンヘルスへの興味関心・知識が薄い層を対象とし、小学生から高齢者まで幅広い年齢層が理解できるプロモーション動画とする。

(ウ) 長さ及び本数

動画は、(エ)に掲げた3つのテーマごとに、1分から2分程度の動画を制作する。

また、本事業で制作した3本の動画を30秒にまとめたダイジェスト版を1本制作する。

(エ) 動画の構成

下記のテーマ及び内容を元に県と協議し、動画の構成、シナリオ及び絵コンテを作成する。国などの方針に合わせて、テーマ及び内容を変更する場合がある。

	テーマ	内容
1	「ワンヘルス」とは	・ワンヘルスとはなにか ・なぜワンヘルスの取組みが必要なのか
2	「ワンヘルス」を実践するためには	・「人の健康」、「動物の健康」、「環境の健全性」を守る方法を具体的に紹介
3	節足動物媒介感染症からみるワンヘルス	・節足動物媒介感染症とはなにか ・節足動物媒介感染症が全国に拡大している理由

(2) 動画の制作

(ア) 企画案の作成

動画のシナリオ、絵コンテ等の企画案については、県と十分に調整を行い、受託者が作成する。

(イ) 制作編集

すでに使用・公開されている過去の動画や写真等を使用する場合は、動画や写真等の収集及び使用交渉を行う。

作成した動画及び県から提供する素材等を用いて編集作業を行う。

動画には必要に応じてナレーション、BGM、音響効果等を入れる。見るものを引きつけ、魅力的なコンテンツとなるよう工夫する。

動画は字幕を活用する。

(ウ) その他

ナレーター、声優等を起用する場合は、選定、出演に関する手続きを行う。なお、謝金等は委託料に含む。

5 成果品

(1) 動画

動画の解像度はフルハイビジョン（1920×1080）以上とし、縦横比は16:9とする。

(ア) 再生用データ

汎用DVDプレーヤーで再生可能なDVD-VIDEO形式で記録したDVD-ROM 5枚

(イ) 動画配信、ウェブサイト掲載用データ

PC等で再生可能なMP4及びMOV形式のファイルを保存したHDDまたはSSD等

(ウ) 非圧縮の映像マスターデータ一式を保存したHDDまたはSSD等

※成果品は県において、必要に応じて編集及び加工し、使用することがあります。

(3) 納入期限 令和6年2月29日（木）

なお、動画は完成したのから順次納品し、納期までに全ての動画の納品を完了すること。

(4) 納入場所 徳島県危機管理環境部消費者くらし安全局安全衛生課

6 特記事項

(1) 成果物の映像・画像・音楽等に係る著作権の処理を済ませたものの所有権は、全て徳島県に帰属するものとする。また、成果物に係る著作権（著作権法第27条・第28条に規定する権利を含む。）

は、全て徳島県に帰属する。さらに、著作者人格権については、これを公使しないこと。

(2) 成果物の著作権（著作権法第27条・第28条に規定する権利を含む。）その他全ての権利等について、必要となる一切の手続き及び使用料の負担等は受託者が行うこと。

(3) 徳島県が行う成果物の再編集・リサイズ・印刷・複製等について、徳島県の判断で行えるものとする。

(4) 音楽素材の使用に関しては、基本的にオリジナルかフリー音源を活用する等、著作権の問題が発生しないようにすること。映像、画像、音楽等の著作権処理等に関する紛争が生じた場合は、受託者の責任において対応すること。

(5) その他、関係法令、条例及び規則を遵守すること。

- (6) 実施内容等は、県と十分協議しながら事業を進めること。
- (7) 県の求めに応じ、随時、業務の進捗及び成果が分かる報告を行うこと。
- (8) 当該業務内容の変更に伴う仕様の変更、委託料の変更等については、必要に応じて協議の上、対応すること。
- (9) 業務の遂行に当たり発生した事故等は、受託者の責任で対処すること。
ただし、県がその損害を県の責めに帰する事由により発生したものと認めた場合は、県もその損害を負担するものとし、負担額は県と受託者の協議で決定する。
- (10) 受託者は、本業務の実施に当たって知り得た秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用しないこと。また、成果品及び業務履行過程で得られた記録を第三者に閲覧させ、複写又は譲渡しないこと。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。ただし、県の許可を得た場合はこの限りではない。
- (11) この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて県と協議の上、決定するものとする。